

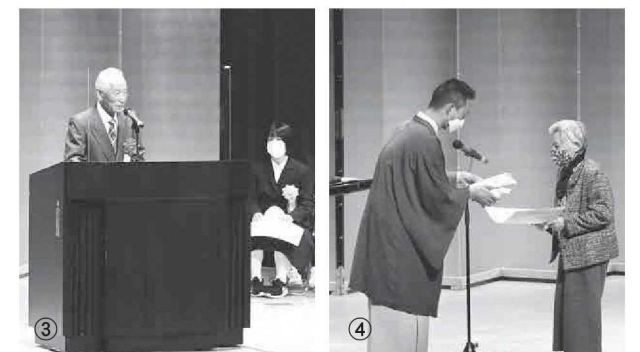


第十回与謝野町 蕪村顕彰全国俳句大会

題字 宮津天橋高等学校加賀谷学舎書道部二年 松浦野帆

～ 全国から俳句を愛する人々が与謝野に集う ～

令和3年11月28日、知遊館において10回目となる与謝野町蕪村顕彰全国俳句大会が開催され、各種表彰やパネルディスカッションが行われるなど、俳句づくしの1日となりました。



①事前投句の受賞者の皆さん ②令和のBUSON俳句大賞の表彰を受ける白須さん ③講評をする天野逸風子氏 ④山添町長から当日投句の表彰を受ける尾藤さん ⑤パネルディスカッションの様子

事前投句および令和のBuson俳句大賞の表彰式では、事前投句として国内外810人から「自由題の部」2389句、「前書俳句の部」680句の応募があり、それぞれ入賞8句と6句が表彰されました。また、町内の小中高生を対象とし944人から応募があった「令和のBuson俳句大賞」の入賞10句が表彰され、受賞した小中高生は自分の俳句作品を読み上げて披露しました。令和のBuson俳句大賞選者を代表して天野逸風子氏の講評に続

き、事前投句選者の塩見恵介氏、山田佳乃氏、田中春生氏による自由題の部、前書俳句の部の講評も行われ、「蕪村をほうふつとさせる」「コロナ禍ならではの切実さを感じられる」など、受賞俳句作品の見どころについて語られました。午後からは、「蕪村顕彰プログラム」座談会「選句の内側」と題してのパネルディスカッション。塩見恵介氏、山田佳乃氏、田中春生氏と蕪村研究者で関西大学名誉教授の藤田真一氏が事前投句作品の選考の様子や、地域ゆかりの蕪村が門弟の

作品や自作品をどのように直したかなどについて、活発な議論を交わされました。最後に、開会前に受け付けた61句の当日投句の結果発表と表彰が行われました。参加者それぞれが選んだ互選の得点と8人の当日投句選者の得点を合算した最高得点句を「与謝野町俳句大賞」として表彰。また、各選者特選賞を決定し、表彰と講評が行われ、与謝野町内からは、最高賞の与謝野町俳句大賞を含め6人の方が受賞されました。

与謝野町蕪村顕彰全国俳句大会

今から約300年前に生まれた与謝蕪村の母親の故郷といわれる与謝野町。名句「夏河を越すうれしさよ手に草履」には「丹波の加悦といふ所にて」の前書があり、当地で詠まれたことがわかります。大江山連峰や野田川の流れ、大内峠から眺める天橋立など、豊かな自然をいただく和謝野町から、丹後を訪れた文人たちが培ってきた俳句文化の振興と、与謝蕪村の顕彰を目的として、俳句大会を開催しています。次回の第11回大会は夏ごろに募集開始予定です。

第10回与謝野町蕪村顕彰全国俳句大会

【自由題の部】三句一組で募集し、2389句の応募がありました。塩見恵介先生、山田佳乃先生の選による入賞8句です。

●与謝野町俳句大賞
何者かに成る筈だつた毛虫焼く
宮川 礼子(茨城県)

●京都府知事賞
保津峡にライオン岩の吼えて夏
井上 實(京都府)

●与謝野町長賞
牡丹の深き許しの緋色かな
中矢えり子(愛媛県)

●与謝野町議会議長賞
ちりめんの機場覗きに小鳥来る
岸下 庄二(兵庫県)

●与謝野町教育委員会教育長賞
膨らんでやがて萎るる夏休み
塚本 治彦(神奈川県)

●与謝野町文化協会会長賞
夢捨ててまた夢紡ぐねぶの花
村岡 政子(東京都)

●塩見恵介賞
秋風やバイクのキーを投げ返す
小橋 辰矢(岡山県)

●山田佳乃賞
集まれば今も長女や梨をむく
松下恵美子(兵庫県)

【前書俳句の部】俳句の背景等を書いた20文字以内の前書きとともに選考するもので、680句の応募がありました。田中春生先生、山尾玉藻先生の選による入賞6句です。

●与謝野町俳句大賞
コロナ禍鎮まらず
杉岡 志風(兵庫県)

●京都府知事賞
コロナと猛暑どこへも行かず何もせず
籠城のごと冷房の部屋に座す
竿山 康枝(京都府)

●与謝野町長賞
盗まれて
折り口のまだ新しき吾亦紅
大山 文子(京都府)

●宮津ロータリークラブ会長賞
故木田千女先生を偲び
脳天に痺れのこしてかき氷
倉本 節子(京都府)

●田中春生賞
墜落事故から三十六年経った今
もう無理と登る御巢鷹炎天下
波切 虹洋(埼玉県)

●山尾玉藻賞
自宅介護
虎刈りに頷く母や小鳥来る
平尾美智男(兵庫県)

【当日投句の部(応募句数61句)】

●与謝野町俳句大賞
ちゃん付けて呼んで呼ばれて木の葉髪
尾藤 静子(与謝野町)

●塩見恵介特選賞
病む妹にちよつとハグして外は雪
吉田 啓郷(京都府)

●山田佳乃特選賞
大江嶺の奥の稜線時雨をり
市田 純子(与謝野町)

●山内利男特選賞
大江嶺に一刷毛の雲稲を刈る
糸井 和子(与謝野町)

●福井久生特選賞
果てし鮭母なる川に身を晒し
桐村 好美(与謝野町)

●西村洋平特選賞
青空やともし火のごと残り柿
川島てるこ(与謝野町)

●白数康弘特選賞
拾いたる瘦せたるおのが木の葉髪
佐藤 元枝(与謝野町)

令和のBuson俳句大賞

●令和のBuson大賞
ホルンの音廊下にこもる梅雨の空
小林 莉乃(橋立中学校3年)

●与謝野町長賞
背中押す大きな一歩春の風
佐々木ころ(江陽中学校3年)

●与謝野町議会議長賞
つぶつづのブドウはみんな大家族
細井 喜貴(加賀小学校4年)

●与謝野町教育委員会教育長賞
彼岸花土手一面に燃ゆる紅
小西 智哉(加賀中学校3年)

●与謝野町文化協会会長賞
かき氷崩れて消えるオーシャンピュウ
山崎 太陽(橋立中学校3年)

●宮津ロータリークラブ会長賞
雨上がり近くて遠い虹を追う
山崎みさき(江陽中学校3年)

●天野逸風子賞
畦道の風に流るる彼岸花
木下えりか(加賀中学校1年)

●白数宏子賞
おちばはねふむとつぶれて音が出る
白須 春貴(石川小学校3年)

●千賀孝郎賞
泥だらけバツタを握る小さな手
井崎 音寧(宮津天橋高校加賀谷学舎1年)

●南うみを賞
雪ふると顔をしかめるおとなたち
吉岡 和奏(江陽中学校1年)

入賞作品